

授業科目名 (ナンバリングコード)	アスレチックトレーナー実習 (131B0-6300)	授業形態	実習	授業科目区分	専門科目 (応用科目)		
担当教員名	藤田 英二			補助担当者名			
単位数	1 単位	履修年次	4年次	受け入れ人数	30人程度		
授業の概要	本授業は、「アスレチックトレーナー論」で得た知識を基に、実習を通じて当該分野に対するさらなる知識と技能を身につけることを目標とする。これにより、リコンディショニングに必要なアスレチックトレーニングの課題解決力、科学的支援力、実技力ならびに実技指導力が身につくことが期待される。						
授業の到達目標 及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法			
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、科学的支援力、専門的な知識・教養 (実技指導力、課題解決力)	授業期間				割合 %
			授業	テスト	レポート	発表	
	■認知的領域	スポーツ活動を安全に実施できる環境整備と安全管理能力について理解する。また、運動器の機能解剖を基に、スポーツ外傷・障害について理解し、リコンディショニングに必要なアスレチックトレーニングの計画作成・実施に必要な知識を得る。			○		
■情意的領域	当該分野に興味・関心を持ち、意欲的に取り組む意思を持つ。	○					20
■技能的領域	リコンディショニングを目的としたアスレチックトレーニングの実施に必要な基本手技ができるようになる。	○					20
成績評価の基準	出席状況、授業への取り組み状況、レポート課題により総合的に評価する。						
テキスト、教材 参考書	参考資料は必要に応じて配布する。 参考書：「公認アスレチックトレーナー専門科目テキスト①～⑨」						
履修条件・ 関連科目	「アスレチックトレーナー論」を履修済みでなくてはならない。 解剖生理学、スポーツ医学、救急処置論・実習は履修しておくことが望ましい。	備考(教員メッセージ含む)	受講希望者が受け入れ人数を超過する場合は、1回目のオリエンテーション時に抽選会を行う。この抽選会に参加できない者は、必ず抽選日までにメールなどで連絡すること (fujita@nifs-k.ac.jp)。抽選日以降の履修相談にはいっさい応じない。この授業のすべての連絡は、基本的にWebClass上で行う(必ず定期的にチェックすること)。※場合によりテーピング実技に使用するテープは各自で準備する必要がある。				
オフィス・アワー	随時：まずはメールにて相談を (fujita@nifs-k.ac.jp)						
授業計画							
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	藤田 英二	オリエンテーション					
2	"	救急処置・応急処置について(講義)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
3	"	PRICE処置と熱中症予防について(講義)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
4	"	心肺蘇生・アイシング等実技	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
5	"	頸部～腰部の構造と末梢神経支配(講義)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
6	"	頸部～腰部のケガと脳振盪(講義)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
7	"	肩関節の構造とケガ(講義)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
8	"	上肢の構造とケガ(講義)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
9	"	股関節～大腿部の構造とケガ(講義)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
10	"	膝関節の構造とケガ①(講義)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
11	"	膝関節～足関節の構造とケガ(講義)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				
12	"	ROM、MMTとその他の評価法(講義&実技)	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと(30分)。				

13	''	体表の触診と徒手検査（講義&実技）	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。
14	''	肩関節回旋腱板と股関節のトレーニング（実技）	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。
15	''	体幹のトレーニング（実技）	WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。